
必要

夜嵐水龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

必要

【Zマーク】

Z7204C

【作者名】

夜嵐水龍

【あらすじ】

詩のような短編です。読んでいただけたら幸いです。

「必要」

私は……

いつまで独り?

誰もいないこの世界で
誰も信じられない私は
生き続けていた

他人は知らない

他人なんて要らない

だってそうでしょ

他人なんて

ただの足手纏い

他人なんて……

ただの邪魔者

そう信じて

生きてきたんだ

ううん

そう信じないと

生きていけなかつたんだ

裏切られるから

殺されるから

そんな思いは

もうしたくないから

だから私は独りがいい

それって本当？

いつの日からか

そう思うことが続いた
だけど私はその思いを
ずっとずっと

自分自身で

消し続けていたんだ

それを抉じ開けてくれたのが
貴方だった

貴方は「絶対裏切らない」
と言つてくれた

なぜか私はその言葉を

信じることが出来たんだ
他人を信じることを忘れた私が
また人を信じることが出来たんだ

昔こんなことを聞いたことがある
「生まれてきて独りなんてことはない
絶対に誰が必要としてくれる
仲間がいる

だからそれまで死んじゃいけない
何年経つかは分からぬ
だけど必ず居るから

それまでずっと生きていなさい」

私はこの言葉を

頭のどこかで憶えていた
だから死ななかつたのかかもしれない

その時は嘘だつて思つてたけど
今は本当だつて分かるよ

ありがとう

こんな私を必要としてくれて
こんな私に手を伸ばしてくれて
こんな私の手を離さないでいてくれて
本当に
本当に
ありがとう……

(後書き)

読んでいただきありがとうございました。
またまた授業中に書いた作品です。(悪)
誤字・脱字がございましたら、お教えください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7204c/>

必要

2011年1月20日02時06分発行